

# 入院手帳

～入院のご案内～  
～自己管理ノート～

入院迄にお読みになりご持参ください



埼玉医科大学国際医療センター

Saitama Medical University International Medical Center

# 目 次

基本理念	1
病院の使命	1
病院の基本方針	1
患者さんの権利	2
小児患者さんの権利	2
患者さんへのお願い	2
看護部の理念	3
看護部の基本方針	3
実習・研修へのご協力をお願い	3
安全管理体制についての説明とご協力をお願い	4
地域がん診療連携拠点病院	5
がん登録についてご協力をお願い	6
個人情報の取り扱いについてのお願い	7
個人情報の業務上の利用目的	9
【 入院のご案内 】	
窓口のご案内	12
入院から退院まで	13
入院手続き	14
入院に際して	15
ご入院される患者さんへ	18
入院証明書・診断書の取り扱い	20
外出・外泊について	20
注意事項	21
治療を受ける患者さんへ	23

お薬の配薬方法についてのお知らせ	26
病室のご案内	27
かかりつけ医療機関の確認と入院治療後の転院について	32
その他の注意事項	33
火災・地震・災害についてのご注意	34
面会について	35
院内の感染防止について	36
栄養管理について	38
入院医療費のお支払い	43
長期入院に係る入院基本料の特定療養制度について	44
DPC/PDPS とは	45
退院時の清算について	47
利用者苦情相談室	48
医療安全相談窓口	48
患者支援センター 医療福祉相談室	49
がん相談支援センター	49
ラーニングセンター（患者図書室）	51
外来・病棟電話番号一覧	52
病院内施設のご案内	53
構内配置略図	54
セカンドオピニオンを希望される方へ	55
カルテ開示を希望される方へ	56
当院の「痛み」の対応について	57
緩和ケアチームのご案内	58
栄養サポートチーム（NST）のご案内	59
呼吸ケアチームのご案内	60

## 【 自己管理記録 】

交通案内	89
------	----

## 基本理念

患者中心主義のもと安心して安全な満足度の高い医療の提供を行い、かつ最も高度の医療水準を維持するよう努めます。

## 病院の使命

当院は、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供します。

## 病院の基本方針

上記の理念に従って、患者中心主義（Patient-Centered）を貫き、あらゆる面で“患者さんにとって便利”であることを主眼とし、患者さんひとりひとりにとって最も適切な医療を提供します。

## 患者さんの権利

当院は、すべての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。  
これらを尊重した医療を行うことをめざします。

1. ひとりひとりが大切にされる権利
2. 安心で質の高い医療を受ける権利
3. ご自身の希望を述べる権利  
\*医療行為について、疑問を抱かれた場合に意思を表明する権利
4. 納得できるまで説明を聞く権利
5. 医療内容をご自分で決める権利  
\*自らの意思に基づいて選択・決定することや拒否する権利
6. プライバシーが守られる権利

## 小児患者さんの権利

1. ひとりの人間として尊重される権利
2. 質の高いおもいやりのある安心安全な医療を受ける権利
3. 年齢や理解度に応じた十分な説明と情報提供を受ける権利  
\*こどもさんとご家族が、わかりやすい言葉や方法で、納得出来るまで説明を受ける権利
4. ご自身で希望を述べる権利  
\*こどもさんとご家族が、ご自身の精神的、文化的、社会的、倫理的な問題について要望する権利
5. 自己決定の権利  
\*こどもさんとご家族が、自らの意思に基づいて医療内容を選択あるいは拒否する権利
6. プライバシーを守られる権利

## 患者さんへのお願い

1. ご自分の健康に関することを詳しくお話しください。
2. ご自分にして欲しいこと、欲しくないことを遠慮なくお話しください。
3. 分からないことがあれば納得できるまでお聞きください。
4. 治療を受けていて異常を感じたらすぐにお知らせください。
5. 他の患者さんに迷惑にならないよう配慮してください。

## 看護部の理念

私たちはひとりひとりを尊重し、良質で満足度の高い看護をめざします。

## 看護部の基本方針

1. 質の高い看護サービスを実践します。
2. コメディカルと協働した患者中心のチーム医療を推進します。
3. 専門職として看護実践能力の向上に努めます。
4. 信頼される人間性豊かな人材を育成します。

## 実習・研修へのご協力をお願い

埼玉医科大学国際医療センターは、患者中心主義のもと安心して安全な満足度の高い医療の提供をし、かつ最も高度の医療水準を維持することを基本理念としております。また、教育病院として、未来を担う医学生、看護学生、研修医などに充実した教育の場を提供することもその大切な役割の一つです。したがって、医学生、看護学生、研修医などが、指導医や指導看護教員などの監督の下に、患者さんの診療に参加させていただくことがあります。プライバシーの保護には十分に注意致します。この趣旨をどうぞご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、もしご協力いただけない場合は、あらかじめ担当医までお申し出ください。それにより診療上、不利益を被ることは一切ございません。

# 安全管理体制についての 説明とご協力のお願い

## 1. 病室移動・退院・転院に関するお願い

当院は高度先進医療を行う急性期病院で、重症・急性期の患者さんの診療にあたるのが責務となっております。地域全般から毎日のように重症患者さんを受け入れるため、以下のようなお願いをさせていただく場合があります。患者さんおよびご家族の方には、この点をご理解くださるようお願いいたします。

- 1) 病状の変化（悪化または軽快）に伴う病室や病棟の移動
- 2) 病状が軽快・治癒した段階での円滑な退院
- 3) 病状が安定し、専門的医療を必要としなくなった場合の地域の病院や療養型病院などへの転院

## 2. 医療安全に関する説明

当院では職員一同注意を払い事故防止のために日々努力していますが、以下のようなことが起こる可能性をあらかじめご理解くださいますようお願いいたします。

- 1) 浴室やトイレなどでの不慮の転倒、ベッドからの転落、ご自身による車椅子の移動に伴う事故（特に、骨粗しょう症や腫瘍の骨転移などがあつた場合の骨折を含む外傷）
- 2) 許可なく外出・外泊したことによって引き起こされた事故や病状の変化
- 3) 点滴や中心静脈カテーテル、気管内挿管チューブ、排液ドレーンなど、医療上必要な管類の患者さん自身による抜去やそれに伴う合併症
- 4) 飲食物の誤嚥などによって生じる肺炎などの合併症
- 5) 長期臥床に伴う合併症（筋力の低下、床ずれ、深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症など）

これらに関連し医療安全・事故防止の観点から患者さんに有益性があると判断された場合には、必要性や方法等について説明し、ご同意いただいた上で手足などに抑制帯の装着や監視モニターなどの設置をさせていただく場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

医療安全に関わるご指摘やお気づきの点、ご不明な点がございましたら病棟スタッフまでお申し出ください。

埼玉医科大学国際医療センター 病院長

# 地域がん診療連携拠点病院

当院は平成 20 年より地域がん診療連携拠点病院に指定されています。

がん対策は、平成 19 年 4 月に施行されたがん対策基本法の基本理念にのっとり推進されています。そのなかで、厚生労働省は、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、がん診療連携拠点病院の整備をすすめてきました。

地域がん診療連携拠点病院には以下の役割があります。

- 専門的ながん医療の提供
- 地域におけるがん診療連携協力
- がん患者さんに対する相談支援及び情報提供

当院は、上記の地域がん診療連携拠点病院の役割を担い、地域住民のみなさまに質の高いがん医療を提供するようこれからも努力してまいります。

## がん対策基本法 第一章第二条 基本理念

- (1) がんの克服を目指し、がんに関する専門的、学際的または総合的な研究を推進するとともに、がんの予防、診断、治療等に係る技術の向上その他の研究等の成果を普及し、活用し、及び発展させること。
- (2) がん患者がその居住する地域にかかわらず等しく科学的知見に基づく適切ながんに係る医療を受けることができるようにすること。
- (3) がん患者のおかれている状況に応じ、本人の意向を十分尊重してがんの治療方法等が選択されるようがん医療を提供する体制の整備がなされること。

# がん登録について ご協力をお願い

当院は、質の高いがん医療を全国で受けられるようにするため、埼玉県による推薦をもとに厚生労働省より「がん診療連携拠点病院」に指定されております。

この為、当院では「院内がん登録」を行い、登録データを国や埼玉県地域がん登録へ報告しております。

この院内がん登録とは、がんの診療や治療を受けた全患者さんを対象に、がんの部位や症状、治療内容（手術、化学療法、放射線療法）、予後調査（生存確認）に関する情報を収集し、登録・集計・公表する仕組みのことで、継続的に登録業務を行っております。

埼玉県では県指導の下、県全域において「埼玉県地域がん登録」を行っており、当院はそれにも参加しております。

その為、登録させていただいた患者さんの生存確認調査を定期的に行い、必要な予後情報を収集します。

病院内において予後情報が把握できなかった場合、病状をお伺いする手紙がお手元に届くことがございますが、ご理解頂き当院へ返信をお願いいたします。

国で定められた「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、取扱いには最大限の注意を払っておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

がん登録に関する問い合わせ先  
診療情報管理室  
TEL：042-984-4112

# 個人情報取り扱いについてお願い

医療を行うためには、患者さんの病歴や診察所見、また、検査所見などの個人情報の収集が必要です。

当センターは「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、患者さんの個人情報保護に適切に取り組み、その取り扱いには厳重な注意を払っております。

個人情報の利用目的等につきまして、以下のことにご理解くださいますようお願いいたします。以下は厚生労働省の示す指針に準拠したものです。ご希望の方には印刷したものをお渡ししますので、各コンシェルジュへお申し付けください。個人情報相談室にて対応いたします。

## 1. 当センターにおける個人情報の主な利用目的でご同意いただきたいこと

### 1) 医療の提供に基本的に必要な利用目的

患者さんの個人情報の基本的な取得目的は、診療の提供とこれに伴う保険事務や、患者さんの関わる病棟などの管理運営などの必要な業務に利用することです。また、適切な診療のために、他の医療機関との連携を図ること、外部の医師等の助言を求めること、他の医療機関からの照会に応じること、ご家族等へ病状の説明を行うことなどにもしばしば必要となります。これらにつきましては、特に留保の意思表示を頂戴しない限り、ご同意をいただいているものとして利用させていただきます。

### 2) 上記以外として、病院の管理運営業務のうち

- ・業務の維持・改善のための資料
- ・学生の実習
- ・院内において行われる勉強会

などで利用させていただく場合があげられます。

以上1) 2) でご同意しがたいものがある場合、患者さんは当センターに対し、あらかじめご本人の明確な意思の確認を得るようお求めになることができます。この場合には、各コンシェルジュまたは個人情報保護相談室にご相談ください。そのような意思表示をされない場合には、上記について同意を頂戴したものとさせていただきます。同

意や留保は、後日お申し出があれば、いつでも変更することができます。

以上の詳細やその他の利用目的につきましては、次頁の個人情報の業務上の利用目的をご覧ください。

2. 個人情報の開示、訂正、利用目的の通知、利用停止などを求められる場合には、各コンシェルジュへお声掛けください。個人情報保護相談室にて対応いたします。開示の場合は手数料がかかります。ご質問やご意見がございましたら各コンシェルジュにお声をかけてください。

以上、1,2 で同意されがたいものがある場合、患者さんは当センターに対し、あらかじめご本人の明確な意思の確認を得ようお求めになることができます。この場合、各コンシェルジュへお声がけください。そのような意思表示をされない場合には、上記について同意を頂戴したものとさせていただきます。同意や留保は、後日お申し出があれば、いつでも変更できます。以上の詳細やその他の利用目的につきましては、掲示されて個人情報の業務上の利用目的をご覧ください。

# 個人情報上の業務上の利用目的

## 1. 医療を提供する上で必要な利用目的

1) 当院は、埼玉医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センターと医療情報システム(電子カルテシステム等)により医療情報の共有化を図っており、各々の医療機関の医療情報を当院での医療提供のために利用いたします。

### 2) 当院内部での利用に関する事項

- ① 診察・検査・調剤・手術・処置などの医療サービス
- ② 医療保険事務
- ③ 患者さんにかかわる管理運營業務のうち、
  - ・ 外来、病棟、検査室、薬剤部などの管理
  - ・ 会計、経理
  - ・ 医療事故などの場合の報告
  - ・ 当該患者さんへの医療サービス向上

### 3) 他施設への情報提供を伴う事項

- ① 患者さんに提供する患者サービスにおいて
  - ・ 他の医療機関、薬局や訪問看護ステーション、介護サービス事業者などとの連携の必要が生じた場合
  - ・ 他の医療機関から当該患者さんの診療上必要な照会があった場合の回答
  - ・ 診療上、外部の医師等の意見・助言が必要でありそれを求める場合
  - ・ ご家族への病状説明
- ② 医療保険事務のうち、
  - ・ 審査支払い機関へのレセプトの提出
  - ・ 審査支払い機関や保険者からの照会への回答
  - ・ 医療保険審査支払い機関または保険者への照会

## 2. 院内の管理運営業務に関する上記以外の利用目的

- ・医療サービスや業務の維持・改善のための基礎資料としての利用
- ・院内での学生の実習に伴って利用させていただける場合
- ・院内での勉強会・症例検討会など

## 3. 医学論文・学会発表などでの利用

医学論文や学会発表での利用は憲法の「学問の自由」に該当し、厳密には「個人情報の保護に関する法律」が適用されませんが、当院では個人情報の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱う方針です。情報が特定の患者さんのものであることが識別不可能な状態とし、また「情報の匿名化」作業を行わせていただきます。

## 4. 第三者への情報提供について

情報を第三者に提供する場合には、原則的に患者さんのご同意を伺います。法的にご同意を必要としないものとして、当院で施行できない検査の院外施設への委託、医療事故報告や外部機関の監査などへの対応などがあります。あらかじめご了承ください。

# 入院のご案内

## 入院される方へ

この入院案内は、当院に入院される場合の手続きや病院内での生活に必要なことなどを書いております。

患者さん本人はもちろん、ご家族の方もぜひお読みください。

入院に関する各種お問合せ先

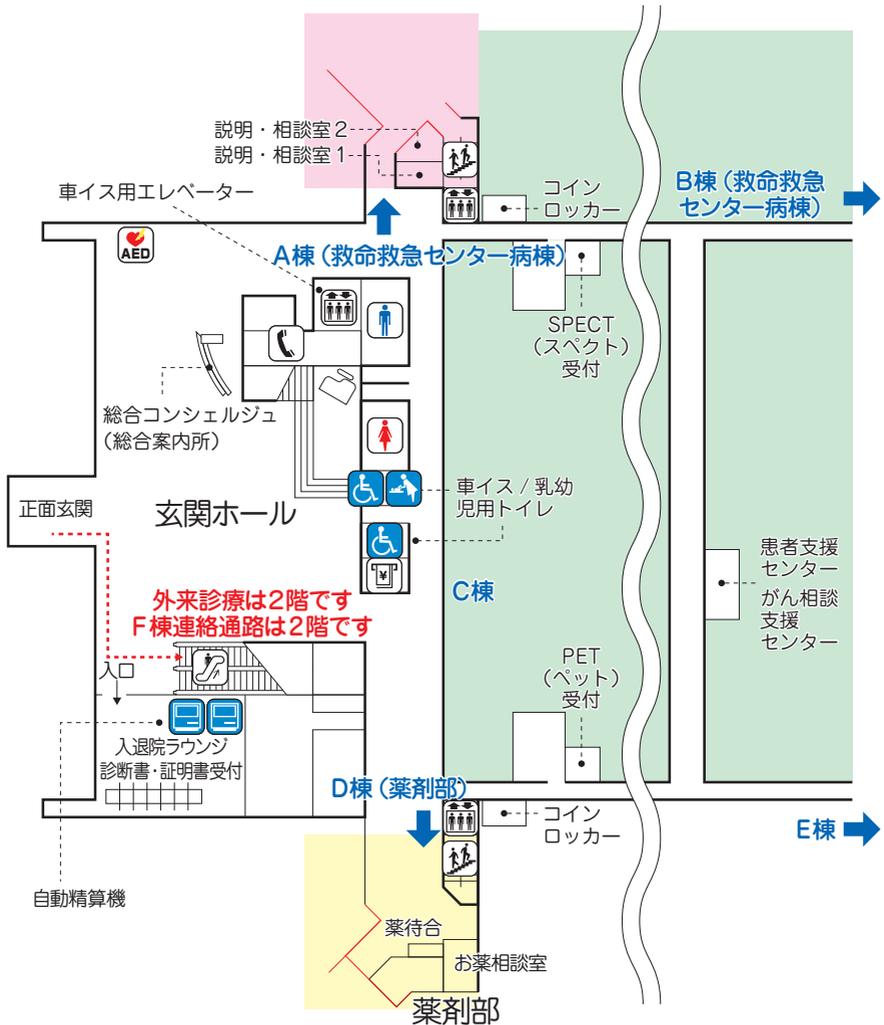
入退院ラウンジ

(C棟1階 医務課)

TEL 042-984-4115

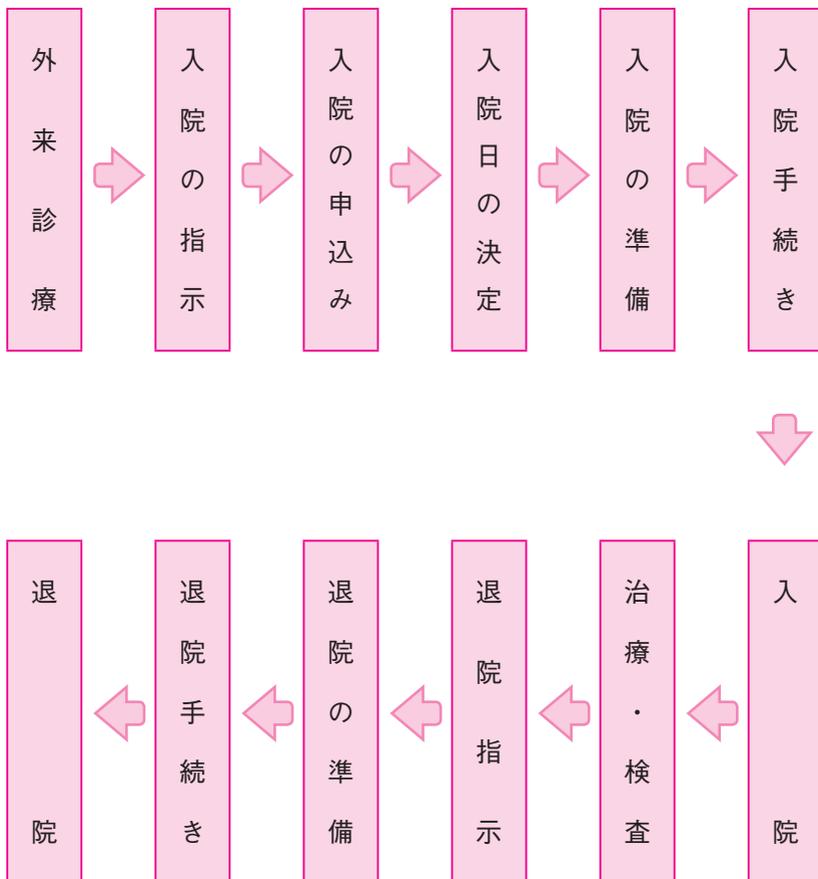
時間 8:30～17:00

# 窓口のご案内



- |      |         |           |        |     |      |        |         |
|------|---------|-----------|--------|-----|------|--------|---------|
|      |         |           |        |     |      |        |         |
| 公衆電話 | 車椅子用トイレ | 女性用トイレ    | 男性用トイレ | トイレ | 避難階段 | エレベーター | エスカレーター |
|      |         |           |        |     |      |        |         |
| ATM  | 自動精算機   | 自動体外式除細動機 | 採血室    | ポスト | 授乳室  | オムツ交換所 |         |

# 入院から退院まで



# 入院手続き

## ◎ 手続きに必要なもの

- ・入院誓約書（事前に記入してお持ちください）
- ・入院状況の確認
- ・連帯保証書（事前に記入してお持ちください）
- ・病衣使用願書（事前に記入してお持ちください）
- ・おむつ使用願（事前に記入してお持ちください）
- ・健康保険証（高齢者医療、労災及び各種助成等を利用される方は証明書等）
- ・診察券（IDカード）
- ・介護保険被保険者証

※自由診療・交通事故等の場合は上記以外に前納金として30万円お預りします。（退院時に医療金として精算致します。前納金にクレジットカードは、ご利用いただけません。）

入退院ラウンジ（C棟1階）  
受付時間：8：30～17：00  
TEL：042-984-4115

# 入院に際して

## 1. ご用意いただくもの

### 日用品

洗面用具（歯ブラシ、タオル、洗面器（必要な方）等）、電動シェーバー（必要な方のみ。院内でのカミソリ類の使用は禁止しています）、バスタオル、シャンプー、石けん、湯のみ、ティッシュペーパー、室内履（転倒防止シューズなど踵のあるタイプ）、下着類等  
※室内履は、ウエルショップ（売店）にて販売しております。



### 病衣・タオル

- ①当院では病衣（パジャマタイプ）・タオルを有料で貸与しております。  
※病衣につきましては、療養上並びに衛生管理上、当院の病衣を着用していただくことが望ましいと考えております。
  - ・タオルにつきましては1日の貸出し枚数は基本、1日3枚以内のご利用とさせていただきます。
  - ・病衣・タオル使用料につきましては、外泊期間や、使用されていない日であっても期間内については請求させていただきます。病衣の交換は、週2回を基本とさせていただきます。
- ②使用料は、一日につき 330円（税込）  
※病衣・タオルは、健康保険の適用外のため自己負担となります。
- ③病衣をご自分で準備される方は、前開きのパジャマタイプのものご用意頂き、週2回の交換をお願いします。（右記の写真を参考にしてください）
- ④緊急入院等の場合は、療養上並びに衛生上、当院で準備した病衣を使用して頂くこともあります。
- ⑤病衣・タオル使用についての手続き及び変更は、C棟1階入退院ラウンジにお申し出ください。



当院の病衣  
（パジャマタイプ）

### その他

医師又は看護師から指示のあったもの。（紙オムツをご使用する際には、病院で指定されたものをご使用ください。）

## 2. 病棟・病室について

当院の病棟は、心臓病センター・包括的がんセンター・救命救急センターで区別されておりますが、すべての病棟は診療科に関係なく混合病棟になっております。

入院申請時にベッド希望をお伺いしておりますが、入院状況によりご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

また、病室の都合で入院中に病室をかわっていただくこともあります。

## 3. 荷物の持込みについて

入院に際し、必要以上の荷物の持込みは、防災上、感染対策上、破損、紛失等の事情により、ご遠慮いただきますようご協力ください。

## 4. ベッドの名札の掲示について

当院では個人情報の保護に関する法律を厳守しておりますが、診療業務を安全かつ円滑に実施する上で、原則としてベッドに名札を掲示させて頂いております。ご理解のほどお願い致します。ただし、患者さんからの申し出があれば配慮させていただきます。

## 5. 入浴について

当院はシャワー浴を原則としています。

## 6. 付き添いについて

当院では、看護師が交代で24時間看護致しますので、付き添いの必要はございません。

ご家族の希望、その他特別な理由で付き添いを希望される場合は、担当医師又は看護師長にご相談ください。

## 7. 転院について

当院は、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療と高度の救命救急医療(脳卒中を含む)を提供する医療機関です。そのため、緊急な治療が必要な患者さんや、早期に手術等が必要な患者さんをひとりでも多く治療する役割を担っています。

- ・急性期を脱した状態
- ・手術後の安定した状態

- ・救命救急処置後の安定した状態
- ・治療・方針が確定し、他の医療施設での治療が望ましい、または可能な状態

などの外来患者さんには、原則ご紹介元の病院や地域の医療機関などで治療を続けて頂くことになっております。また、地域の医療機関と緊密な連携をとっておりますのでご安心ください。転院等のご相談は患者支援センター（P46 参照）にてお受けいたします。

## 8. 退院について

健康保険法の規定により、入院後 7 日以内に退院調整を開始することとなっております。

退院調整看護師、社会福祉士等が退院調整の相談を行います。

## 9. 駐車場について

構内の駐車場は外来者用の駐車場になります。入院患者さんの駐車場のご利用はご遠慮ください。

## 10. 内服薬について

当院では、入院期間中、病棟薬剤師が薬の確認を行うことがございます。いつも内服している薬のある方は、お薬とお薬手帳を持参してください。（サプリメント、点眼薬、インスリン、吸入薬、軟膏なども含む）

## ご入院される患者さんへ

### 化粧について

診療に支障が出ますので、入院中のお化粧をご遠慮ください。手術日や検査日当日は、顔色の観察や機器の作動に支障をきたしますので禁止いたします。

### マニキュア・ジェルネイル・つけ爪について

マニキュア・ジェルネイルは、爪の色による手術中における循環動態観察、また容態変化観察の妨げになるため入院時には除去をお願い致します。(病院では除去できません。)



## 指輪・ピアスなどの貴金属について

手術中は指がむくみやすく、指輪をしていると血流障害により壊死をきたし、最悪の場合は指の切断に至ることがあります。また、指輪やピアスなど金属を身に付けていると医療機器を使用した際にヤケドの危険もあります。入院時には必ず外して頂くようお願い致します。(指輪が外れない場合は、入院前に貴金属店などにご相談ください。)



## 眼鏡・コンタクトレンズについて

手術の際は、眼鏡・コンタクトレンズを外していただきます。特に、コンタクトレンズは着用したまま手術を受けると、眼球を傷つけてしまう恐れがあります。

コンタクトレンズは病室で外していただきますのでケースをご持参ください。眼鏡が必要な方は手術室で外していただければ、看護師が病室にお届けします。

## 入院証明書・診断書の取扱い

書類の依頼については、退院時に申し出てください。ただし、内容により時間を要する場合もございます。また、入院中転科された場合は、各科ごとの証明となります。(例 内科 → 外科などは2通必要になりますので、あらかじめご了承ください。)

診断書・証明書の受付は入退院ラウンジ・各外来受付にて行っております。

診断書・証明書受付

受付時間 8:30～17:00 (日・祝祭日を除く)

TEL 042-984-4761

## 外出・外泊について

- ご自宅等に外出・外泊される場合
  - 担当医師の許可を得てください。
  - 看護師にお申し出いただき「外出・外泊願い」を記入し提出してください。
- 病棟から離れる場合
  - 病棟から離れる場合は看護師に声をかけてください。
  - 病院敷地内から出ないようにお願いいたします。
  - 敷地内であっても屋外で患者さんをお見かけした場合は、職員から声をかけさせていただくことがあります。

## 退院証明書の発行について

当院では転院される患者さん及びご希望の患者さんに退院証明書を発行しています。

発行を希望される方はC棟1階入退院ラウンジへお申し出ください。

退院証明書とは

患者さんが退院された後、3カ月以内に、入院していた医療機関以外で入院する際に、入院先の医療機関に提示していただく証明書になります。

入退院ラウンジ (C棟1階)

受付時間：8:30～17:00 TEL：042-984-4115

※発行は退院後、3カ月以内とさせていただきます。

# 注意事項

1. 消灯時間：22：00 です。消灯後は他の患者さんに迷惑にならないよう安静にしてください。
2. 貴重品  
私物をご自身で管理し、多額の現金や貴重品はお持ちにならないようお願い致します。病院では現金や貴重品をお預かりすることはできません。また、院内での紛失の際は責任を負いかねますのでご了承ください。
3. コインロッカーのご利用方法
  - 1) ご利用料金は300円（税込）です。
  - 2) ご利用は原則1週間以内とします。1週間を超えた場合は当社にてロッカーを開けて収容物を回収・保管し、30日を過ぎたら処分する場合があります。（なるべく多くの方にご利用頂くためです。）
  - 3) 鍵は紛失しないよう管理をお願いいたします。  
（紛失時は鍵の交換料金が必要となります）
  - 4) 食品や貴重品、危険物などは保管できません。  
（その他物品についても「使用約款」をご確認ください）
  - 5) お問い合わせは下記までお願いします。  
ウエルフェア ☎ 042-980-5582  
（月～土 8：30～17：30）  
休日・夜間は職員にお申し出ください
4. 他の病室・診察室・スタッフステーション・パントリー等に入出入りすることはご遠慮ください。
5. パソコン・携帯電話・タブレット端末
  - ・院内では、マナーモード・イヤホンでの使用をお願いします。
  - ・メールやインターネット等のデータ通信は可能です。
  - ・ご利用の際は、他の患者さんにご迷惑がかからないようにお願いします。

○次の場所では、電源をお切りください。

ICU等病棟（談話室、食堂を除く）

（A1病棟、A3病棟、A4病棟、B2病棟、B3病棟、B4病棟、D4病棟。ただし、A1病棟以外は電源を切る必要のない場所があります。詳細は各病棟の避難経路図に記載されています。）

○次の場所では、通話をご遠慮ください。

外来および検査部門エリア（診察室、処置室、待合など）病棟4人病室、病棟内の廊下

※携帯電話を使用される際は、周りの方へのご迷惑にならないようマナーを守ってお使いください。

6. テレビカード

- 1) 販売機は各病棟にあります。
- 2) テレビカード 1枚 1,000円(税込)  
(視聴時間は1枚767分です)  
※テレビカードで使用できるもの
  - ・洗濯機 1回150円(税込)(洗剤をご用意ください)
  - ・乾燥機 30分100円(税込)
  - ・冷蔵庫 1日(24時間)100円(税込)(但し1人床と有料4人床は無料)
  - ・個室の電話 ご利用料金は公衆電話と同じです。
- 3) イヤホンが必要となります。院内の売店でも販売しております。
- 4) カードの精算機は1階ロビーコンシェルジュの裏手に設置されています。

7. テレビ等の電気製品の持ち込みは他の患者さんのご迷惑にもなりますので、ご遠慮ください。

8. 不審者・不審物を見かけた場合

スタッフステーションまたは病院職員にご連絡ください。

9. 病院敷地内は全面禁煙です。

10. 病室の冷暖房のコントロールは、看護師までお申し出ください。

11. 病院内注意事項のサインについて

院内には、以下の注意サインがございますので、ご留意頂きますようお願い申し上げます



手スリに  
上らないで  
ください



電源をお切り  
ください



ガラスに寄り  
かからないで  
ください



盲導/介助犬以外の  
動物・ペットを連れて  
入らないでください



禁煙

この他病院内には、危険な場所や立ち入り禁止の場所がありますので、必要以外の場所には立ち入らないでください。

# 治療を受ける患者さんへ

国際医療センターでは、世界標準での患者安全対策に取り組んでいます。その中から以下の取り組みにつきましては、安全かつ安心して治療を受けていただくために患者さん・ご家族のご理解が特に重要になります。本主旨をご理解の上、ご協力いただきますように重ねてお願いいたします。

## ①患者さんの確認を確実な方法で行います

患者さんを取り違えてしまうと大事故につながります。それを防ぐために、特に重要な場面である検査・採血・輸血・処置全般・投薬などを行うときに患者さんの確認を次の方法で行っています。

- 患者さんに、「フルネームと生年月日」を名乗っていただき、電子カルテの情報などと照合しております。
- 患者さん自身が名乗れない場合は、ご家族の方に代わって名乗っていただくか、診察券やリストバンドを用いて確認しております。

院内すべての場所、すべての状況で統一して患者さんの確認を行います。

## ②良好なコミュニケーションを図ります

職員同士や職員と患者さんの間での情報伝達による間違いを減らし、安全な医療の提供に努めます。受け手への正確な情報伝達として以下の内容に取り組んでいます。

- 医師からの指示は、救命処置中を除き、指示簿に記載して確実な伝達をしています。
- 救命処置中の口頭での指示、また緊急に電話での報告が必要な場合は、受け手は内容を書き留め、読み上げて確認する事で伝達誤りがないようにしています。
- 患者さんへの説明は文書や図を用いて、理解していただけるよう行っています。

### **③薬剤を使用する際の安全性を確保します**

薬剤の管理を適切に行い、患者さんに安全に投与できるよう取り組んでいます。

- 名前が似ている、見た目が似ているなどの間違いやすく注意すべき薬剤は見てすぐわかるように表示し、それぞれを離して保管するなどしております。
- 取扱いの難しい薬剤は、見てすぐわかるように表示し配置する部署を限定して保管場所は鍵をかけるなど安易に使用できないように工夫しています。

### **④手術、侵襲的処置の部位の確認（マーキング）、 手技の確認（タイムアウト）を徹底して行います**

正しい患者さんに、正しい部位、正しい手順で手術、侵襲的処置を行うように職員と患者さん、職員同士での確認をしっかりと行っています。

- 手術、処置部位へのマーキングは、患者さん、ご家族と一緒に「→」のマークを用いて場所をはっきりとわかるようにしています。
- 手術、処置施行前に物品、機器などについて準備できているか全て確認しています。
- 手術、処置を開始する前に全員で手を止めてチェックリストによる施術内容の確認（タイムアウト）を行っています。

### **⑤医療に関連する感染のリスクを低減します**

医療に関連した合併症としての感染（症）を減らすため、感染対策を実践しています。

- 感染対策の基本である手指衛生（手洗い）を5つのタイミング（患者さんに触れる前・触れた後、清潔／無菌操作の前、体液に触れた／触れたかもしれないとき、患者さんの周辺物品に触れた後）で行っています。
- 職員の教育はもちろんのこと、患者さんやご家族にも感染対策について説明いたします。
- 皆さんの協力のもと、全員で感染対策に取り組んでいます。

## ⑥転倒・転落やアレルギーによる事故のリスクを低減します

事故防止のため、次の場面で患者さんへリスク評価を適宜行っています。

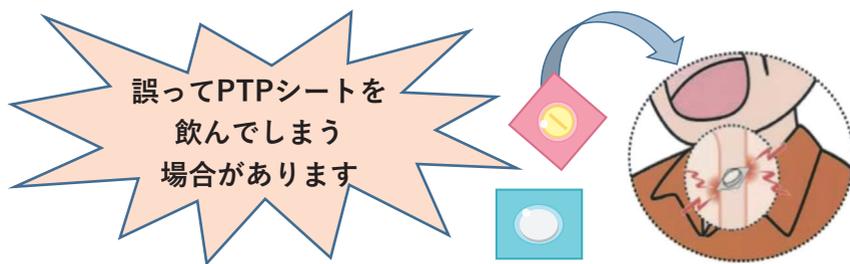
- 外来受診または入院する際に評価を実施しています。
- 入院中服用中の薬剤、状態の変化による転倒リスクの再評価を実施しています。
- 常に職員内で患者さんのリスクを情報共有するため、  
転倒・転落のリスク → 「ピンク色のリストバンド」  
アレルギーのリスク → 「緑色のリストバンド」  
を装着していただいております。
- 対策案を立案し、患者さんと一緒に防止に取り組んでいます。

# お薬の配薬方法についてのお知らせ

当院では、患者さんによるPTPシート（錠剤の包装シート）の誤飲防止に取り組んでいます。PTPシートの誤飲は、認知障害やせん妄状態でない患者さんにも発生することがあり、患者さんの健康に重大な影響を与える可能性があるため、厚生労働省や国民生活センターなどの関係機関より度々注意喚起がなされています。

そこで、入院中はお薬を病棟で管理させて頂き、配薬する際にはPTPシートから取り出し、紙カップに入れて配薬させて頂きます。尚、紙カップはその都度、新しいものを使用致します。

ご理解とご協力を頂きますよう宜しくお願い致します。



# 病室のご案内

1人床 (差額ベッド代をいただく病室) (A～E病棟)



●クローゼット  
チェスト  
(整理棚)



●ウォシュレットトイレ



●洗面台



- テレビ  
※テレビカードをご利用いただけます
- 冷蔵庫 (無料)
- セキュリティボックス  
※引き出し内部にあり、専用のカードキーで管理できます
- 電話、単独エアコン、個人用照明

## 1人床（差額ベッド代をいただく病室）（F病棟）



●ユニットバス  
トイレ



●洗面台

- テレビ  
※テレビカードをご利用いただけます
- 冷蔵庫（無料）
- セキュリティボックス  
※専用のカードキーで管理できます
- 単独エアコン
- 個人用照明



●スリーパーベンチ・オフロック式ベッド



●アクションワゴン・チェスト

## 4人床（差額ベッド代をいただく病室）（A～E病棟）



### ●テレビ

※テレビカードをご利用いただけます

### ●冷蔵庫（無料）

### ●セキュリティボックス

※引き出し内部にあり、専用のカードキーで管理できます



### ●ウォシュレットトイレ（共用）



### ●洗面台（共用）

## 4人床（差額ベッド代をいただく病室）（F病棟）



●洗面台（共用）



●ウォッシュレットトイレ（共用）

●テレビ

※テレビカードでご利用いただけます

●冷蔵庫（無料）

●セキュリティボックス

※専用のカードキーで管理できます



●折りたたみチェア

## 4人床（差額ベッド代をいただかない病室）（A～E病棟）



●テレビ

●冷蔵庫（有料）

※テレビカードをご利用いただけます

●セキュリティボックス

※引き出し内部にあり、専用のカードキーで  
管理できます



●ウォシュレットトイレ（共用）



●洗面台（共用）

## かかりつけ医療機関の確認と 入院治療後の転院について

当院では、患者さんに安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように各病棟に退院支援専従の看護師を配置しております。

また、当院は、がん、心臓病、脳卒中に対する高度専門医療と救命救急医療を提供する医療機関で、高度急性期病院に指定されています。緊急な治療が必要な患者さんや、早期に手術が必要な患者さんをひとりでも多く治療する役割を担っています。

つきましては、下記の状態（概ね2週間程度）となった場合は、自宅への退院、あるいは患者さんのかかりつけ医をはじめとする地域の医療機関などで治療を続けていただくこととなりますが、当院は地域の医療機関と緊密な連携をとっておりますのでご安心ください。転院の時期と転院先については、入院後に主治医または病棟スタッフにご相談下さい。

- 急性期を脱した状態
- 手術後の安定した状態
- 救命救急処置後の安定した状態
- 治療方針が確定し、他の医療施設での治療が望ましい、又は可能な状態

※ご不明な点は病棟の退院支援看護師にご相談ください。

## その他の注意事項

1. 医師・看護師・薬剤師等からの治療上の指示は、必ずお守り下さい。
2. 静かな療養環境のために、必要なマナー・ルールの遵守にご協力下さい。
3. 当センター内において、下記のような行為を認めた場合強制退院・退去となりますのでご注意下さい。
  - (1) 他の患者さんや病院職員(医師・看護師等、以下同じ)に暴力をふるう、またはそのおそれがある場合
  - (2) 大声や暴言または脅迫的な言動により、他の患者さんや病院職員に迷惑を及ぼす、または病院職員の業務を妨げた場合
  - (3) 病院職員の体を触る、または卑猥な言葉を発する等のセクハラを行った場合
  - (4) 病院職員に不当な要求を行った場合
  - (5) 病院内の機器、備品、施設等を破損した場合
  - (6) 治療・面会等の理由なくして、外来や病棟等の診療区域内に立ち入った場合
  - (7) 危険物を持ち込んだ場合
  - (8) 病院職員への文書作成の強要や、執拗な面会等の要求を行った場合
  - (9) 病院の敷地内で喫煙した場合
  - (10) その他、病院運営上必要なことで当院の関係職員が注意したにも関わらず迷惑行為を繰り返した場合
4. 許可なく、敷地・建物内において次のすべての行為を禁止します。
  - (1) ビラ・パンフレット等の配布・貼付
  - (2) 呼び掛け・勧誘
  - (3) 宣伝・広告
  - (4) 販売・出店
  - (5) 故なく立ち入る行為
  - (6) 写真・ビデオ撮影
  - (7) その他の迷惑行為

# 火災・地震・災害についてのご注意

1. 病院敷地内は、全面禁煙です。
2. 病院敷地内での火気の取扱いは、特に注意し火災予防にご協力ください。
3. 火災を発見したら、直ちに周辺職員に大声でお知らせください。
4. 火災・地震などが発生したときは、病院職員の誘導に従ってください。
5. 避難時は、エレベーターを利用しないでください。
6. 避難階段は、各センター入口自動ドア横に設置されています（火災時、セキュリティーは解除されます。）
7. 避難経路は、各種案内等に掲載されていますのでご確認ください。  
外来フロア：「院内案内図」「外来受診のご案内」  
病棟フロア：各ベッドに設置された「病棟案内」

# 面会について

## ※ 面会の方へ

1. 当院では、病棟でのセキュリティ強化を目的に面会者の方には面会証シールを貼付して頂きます。面会証シールにつきましては、正面玄関にある総合コンシェルジュにて面会手続きの際にお渡しいたします。病棟入口のインターホンで面会証シールを提示し面会希望である旨をお伝えください。また面会が終わりましたら総合コンシェルジュと救命救急センター受付に設置してあります「面会証シール回収専用BOX」にお入れください。
2. 面会時間  
13：00～20：00（平日） 11：00～20：00（土、日、祝祭日）
3. 面会される場合は必ず看護師に申し出て面会の許可を得てください。患者さんの病状によっては面会をお断りすることや、面会時間を制限または変更することがありますのでご了承ください。  
面会はおおむね30分以内にしてください。

## ※ 面会時の注意

1. 小学生以下のお子様の面会をご遠慮いただいております。
2. かぜまたは、流行性の病気にかかっている方の面会はお断り致します。
3. アレルギーや香りに敏感な患者さんもいらっしゃいますので、お花はご遠慮ください。
4. 病院より提供される飲食物以外については、医師または看護師の許可を得てからお持込みください。
5. 面会者の病室での飲食をご遠慮ください。
6. 患者さんのプライバシーを守るため、お電話での入院・退院のお問い合わせには応じておりませんのでご遠慮ください。また、来院された場合はお部屋のご案内をしております。総合コンシェルジュにお尋ねください。

# 院内の感染防止について

当院では、患者さんに安心して療養生活を送っていただくため、病院スタッフ一丸となって感染対策に取り組んでおります。入院中の方および面会者の方は以下のことにご協力をお願いします。

1. 「手洗い」を心がけてください。



2. トイレの後や食事の前などの手洗い

(1) 液体石鹸をよく泡立て、指の間や指先や手首までしっかりと洗ってください。

(2) 手洗いの後は、ペーパータオルで良く手を乾燥させてください。

3. 病室に入る前と病室から出る際の注意点

(1) アルコール製剤のすり込み式手指消毒剤で手の消毒をしてください。

(2) 各病棟スタッフステーション前や各病室前にアルコール製剤のすり込み式手指消毒剤を常備しておりますのでご利用ください。



4. 入院時の注意事項

(1) 予定入院の方で、風邪や流行性の感染（みずぼうそうや風疹、はしかなど）などがある場合、入院の延期または中止となることがありますので、お早めにご連絡ください。



## 面会について

1. 一度に多く的人数でのご面会をご遠慮ください。

2. 病院からお帰りになる際にも「手洗い」を心がけてください。

## 正しい手洗い方法（石鹸）



① 水で濡らし液体石鹸をつけて良く泡立えます。手のひらを洗います。



② 両方の手の甲を洗います。



③ 指の間を洗います。



④ 両方の指先や爪の間に洗います。



⑤ 両方の親指を包むように洗います。



⑥ 手首まで洗います。

### 30 秒以上かけて洗いましょう

## アルコール製剤による手指消毒方法



① 手指消毒薬を手を平にとります。



② 両方の指先や爪の間に擦り込みます。



③ 両方の手のひらと指の間に擦り込みます。



④ 両方の手の甲に擦り込みます。



⑤ 両方の親指を包むように擦り込みます。



⑥ 手首まで良く擦り込みます。

### 15 秒以上かけて擦り込みましょう

## 栄養管理について

当院では、多職種との共同で栄養管理を実施しています。

入院期間中に適切な栄養管理を行なうため、管理栄養士が病棟巡回し食事の説明や、栄養補給内容について確認させていただいております。栄養に関することについて、ご質問などございましたら、管理栄養士または、病棟スタッフにお声掛けください。

## 栄養相談のご案内

★当院では担当医の指示により、管理栄養士が栄養指導を実施しております。

ご希望の方は、お気軽に担当医にお申し出ください。

◎指導日時：月曜～土曜日（祝祭日を除く）

9：00～16：00

☆予約制になっております。

◎場 所：説明相談室（病棟・外来）または病室

# お食事のご案内

入院中のお食事は、担当医の指示により決められています。

患者さんの容態に合わせて食事を管理しますので病院の提供する食事を召し上がってください。持込み食・院内レストラン・売店でのご食事はご遠慮ください。

食事には毎回、お名前の記載がある用紙＝『食札（しょくさつ）』がついています。食札には食事の内容が簡単に記載されていますので参考にしてください。

食事についてのご不明な点やご質問等がございましたら、病棟にお伺いする栄養士、または医師・看護師を通して栄養部にお申し付けください。

※入院中のお食事の負担額

標準負担額：1食 460円

お箸・スプーンは毎食トレイにのせてお返しください  
下記のエネルギー量、塩分量は1日の総量です  
主食は1回の分量です

病棟、ID番号  
お名前など

〇〇階病棟  
□□……□

日高 太郎 様

〇〇〇  
〇/〇/〇 昼食

E1600・6g  
ご飯 160g

牛乳禁止

提供される食事の1日の量  
(エネルギー量、塩分量など)  
⇒食事の種類により記載される  
内容が変わります。

E1600は、  
エネルギー量=1600kcal  
を意味しています。

アレルギー食品や治療による禁止  
食品がある場合、担当医より指示  
されます。  
※原則、嗜好による禁止食品につ  
いては対応していません。

〈お食事の特徴〉

★治療上特別な制限のない食事

常食	成人一般向けの食事	1800kcal/日
かゆ食	やわらかめの食事	1600kcal/日

★治療上栄養素量の指示がある食事

エネルギーコントロール食 (E〇〇)	エネルギーの調整を必要とする食事 糖尿病、脂質異常症、心疾患など
たんぱく質コントロール食 (P〇〇E〇〇)	たんぱく質量の調整を必要とする食事 腎臓病、肝臓病など
脂質調整食 (F〇〇)	脂質量の調整を必要とする食事 膵炎、胆石など

上記の他にも様々な食事がありますが、  
担当医の指示により患者さんの病状に合わせた食事が提供されます。

★主食（ご飯やお粥）について

→患者さんの病状に合わせて担当医の指示により提供されます。

★塩分量について

設定：10g未満、6g未満、4g未満（一部食種にて例外あり）

→担当医の指示により適正な塩分量で食事が提供されます。

★お食事の提供について

通常、お食事は病室へお届けします。食堂にて食事を召し上がる場合は、食事時間までに食堂へ着席し配膳担当者へお声掛けください。

★お食事の提供時間

(食堂・病室により時間差が生じる場合があります。)

朝 食	7：15 以降
昼 食	11：45 以降
夕 食	18：00 以降

★嚥下障害を伴う方へ ～増粘剤の取り扱いについて～

当院の増粘剤の取り扱い基準は、下記のようになっております。

ご理解、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

- ①栄養部では、病院食を召し上がっている方で、飲み込み（嚥下）に支障のある患者さんには、必要に応じて水分の制限やお茶の変更などの対応を致します。（お茶ゼリー、とろみお茶などによる提供）
- ②個人購入した飲み物、薬を飲むための水分用としての増粘剤は提供しておりません。

※飲み物、薬を飲むための水分用の増粘剤は、個人でご用意ください。

(院内の売店でも増粘剤を販売しております。)

※増粘剤は、とろみ調整食品です。

食べ物の飲み込みが上手くいかない方、むせこみやすい方が食べ物に粘度をつけて飲み込みやすくするための食品です。

※増粘剤のご利用は、医師または言語聴覚士にご相談ください。

## 「有料特別メニュー」のご案内

当院では、より充実した食事サービスの提供を目指し、ご希望の患者さんを対象に「有料特別メニュー」のご提供を行っています。

### 【注文にあたっての注意事項】

- 「有料特別メニュー」はいつものお食事の負担額（標準負担額：1食 460円）に加えて追加負担額（1食 330円 税込）でのご提供となります。
- 申込方法：患者さんによる申込書の記入（主治医の同意が必要となります）確認後、伝票をスタッフステーションまでお願いします。
- 提供日：昼食・夕食のみ（毎日）
- 注文締切：希望日前日 18:00 までとさせていただきます。
- 禁止食材（アレルギーなど）や食形態（きざみ食など）の対応は出来ませんのでご了承ください。

※有料特別メニューについて、詳しくは管理栄養士又は看護師にお声かけください。

### ○メニューと栄養価（詳細は病棟食堂掲示を参照してください。）

	メニュー	エネルギー量	塩分量
日曜日(昼食)	ビビンバ丼セット	684kcal	塩分4.6g
日曜日(夕食)	天重セット	762kcal	塩分3.9g
月曜日(昼食)	バンバンジーめんセット	1051kcal	塩分5.6g
月曜日(夕食)	フカヒレあんかけ炒飯セット	727kcal	塩分5.0g
火曜日(昼食)	麻婆豆腐セット	764kcal	塩分4.4g
火曜日(夕食)	鶏釜めしセット	820kcal	塩分6.3g
水曜日(昼食)	たらこクリームスパゲッティセット	743kcal	塩分3.3g
水曜日(夕食)	鶏唐スイートチリソースセット	888kcal	塩分2.8g
木曜日(昼食)	穴子ちらし寿司セット	754kcal	塩分5.7g
木曜日(夕食)	デミグラハンバーグセット	778kcal	塩分3.7g
金曜日(昼食)	五目あんかけ焼きそばセット	461kcal	塩分3.4g
金曜日(夕食)	エビフライカレーセット	780kcal	塩分4.1g
土曜日(昼食)	天ぷらそばセット	832kcal	塩分7.5g
土曜日(夕食)	ロースかつ丼セット	702kcal	塩分6.2g

# 入院医療費のお支払い

1. 毎月月末締めで翌月の中旬に定時請求書を病室にお届けします。お支払いは2週間以内に、自動精算機でお願いいたします。

入退院ラウンジ（C棟1階）	8:30～17:00
心臓病・脳卒中センターコンシェルジュ（A棟2階）	13:00～17:00
包括的がんセンターD棟コンシェルジュ（D棟2階）	13:00～17:00
包括的がんセンターE棟コンシェルジュ（E棟2階）	13:00～17:00
放射線腫瘍科受付（F棟1階）	8:30～17:00

2. 特別療養環境室（差額ベッド）に入室した場合には、特別療養環境室料（差額ベッド代）がかかります。また、料金の一日あたりとは、0時から24時までの間の利用となります。（例、1泊2日で入院された場合は、2日分の料金となります。）料金は、特別環境療養費（差額ベッド）についてのご案内をご覧ください。
3. 入院医療費のお支払いには、クレジットカードもご利用いただけます。お取り扱いは、入退院ラウンジ内、窓口及び自動精算機のみとなります。詳しくは、C棟1階入退院ラウンジまでお問い合わせください。  
\*以下のマークのあるクレジットカードがご利用いただけます。



4. 領収書の再発行は致しませんので、大切に保管してください。
5. 当院は医科と歯科を併設しております。医科・歯科はそれぞれ診療報酬請求が別々のため、入院中に医科・歯科間で診療が発生した場合、入院費に含まれず、別途外来扱いで請求させていただきます。  
（例）「医科」入院中で「歯科」を受診した場合

入退院ラウンジ（C棟1階）  
受付時間：8：30～17：00  
TEL：042-984-4115

# 長期入院に係る入院基本料の 特定療養制度について

同じ疾患による入院期間が180日を超える入院について、入院料の一部を患者さんが自己負担する制度についてお知らせ致します。

## 1. 対象となる入院期間

同一医療機関に限らず他の医療機関での入院期間も含め同一疾患での通算入院が180日を超えた場合に対象になります。

\*退院後3ヶ月以内（疾患によっては1ヶ月以内）に同一疾患で再入院された場合は、前回の入院期間も通算されます。

## 2. 対象とならない場合

同じ疾患による入院期間が180日を超える場合でも以下のような状態の場合は対象になりません。

- ①重度の肢体不自由者
  - ②人工腎臓を実施している状態
  - ③15歳未満の患者
  - ④小児慢性特定疾患受給者
  - ⑤育成医療受給者
- など

## 3. ご負担額について

本制度の対象となった入院期間（外泊を含む）1日につき、2,640円(税込)の負担となり、入院費とあわせてご請求させていただきます。

\*この制度の問い合わせにつきましては、C棟1階入退院ラウンジまでお問い合わせください。

# DPC/PDPSとは

当院は平成21年7月より、厚生労働大臣が指定するDPC対象病院として認定されました。「DPC」という用語は、「Diagnosis Procedure Combination」の意味であり、診断群分類を意味します。診断群分類は、約500種類の基礎疾患を元に重症度、年齢、手術、処置の有無、副傷病名の有無などにより分類された約4200種類の診断群分類のことを言います。「PDPS」とは、「Per-Diem Payment System」のことであり、1日当たりの医療費の支払い方式を意味します。DPC/PDPSとは、診断群分類に基づく1日当たりの医療費の支払い方式(診断群分類別包括評価支払い制度)の名称です。

## 算定方法

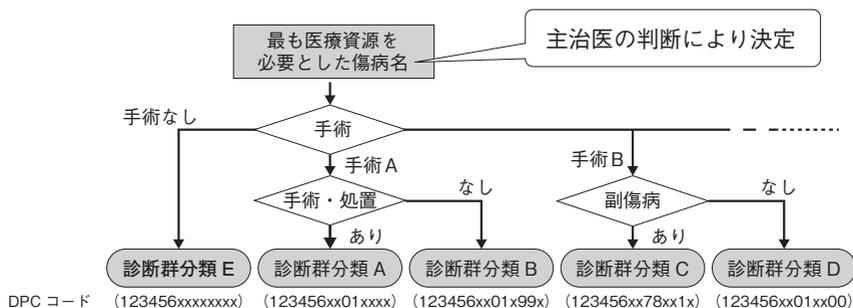
- ・DPC/PDPSでは、入院期間中に治療した病気の中で最も医療資源を投入した疾患に対して厚生労働省が定めた1日当たりの定額の点数からなる包括評価部分(入院基本料、検査、投薬、注射、画像診断など)と、従来通りの出来高評価部分(手術、内視鏡検査、リハビリなど)を組み合わせて計算する方式です。
- ・食事療養費(食事代)の金額は別に負担して頂くことになります。

出来払い方式	DPC/PDPS
※診療行為ごとに算定	※1日当たりの定額点数(包括部分)×入院日数
入院料 投薬料 注射料 処置料 検査料 画像診断料	入院料 投薬料(退院処方を除く) 注射料 処置料(一部を除く) 検査料(一部を除く) 画像診断料(一部を除く)
	※個々の点数(出来高払い)
手術料 医学管理料 リハビリ・その他 食事療養費	手術料 医学管理料 リハビリ・その他 食事療養費

- ◆患者さんの病気・治療の内容等によっては、この制度の対象にならない場合もあります。
- ◆労災の方、交通事故等で自費診療の方は、この制度の対象外です。

## 【診断群分類決定までの流れ】

- ① ICD 分類に基づく傷病名により分類
- ② 診療行為（手術、処置等）により分類



## 入院医療費算定の Q & A

Q 1. 医療費の算定方式はどのようになっていますか？

A 1. 診療行為ごとに料金を算定する「出来高払い方式」とは異なり、入院される患者さんの病気・病状をもとに、処置などの内容に応じて定められた 1 日当たりの定額の点数を基本に医療費を計算する「包括評価方式」です。

1 日当たりの定額の点数は、診断群分類と呼ばれる区分ごとに、入院日数に応じて定められています。また、この算定方式が適応されるのは、入院基本料や検査、投薬、注射、画像診断等で、手術等については従来通り「出来高払い方式」で算定されます。

Q 2. 医療費の支払い方法はどのようになりますか？

A 2. 一部負担金の支払い方法は、従来の方法と基本的に変わりありません。ただし、入院後、病状の経過や治療の内容によって診断群分類が変更になった場合には、請求額が変動することがあるため、退院時等に、前月までの支払い額との差額の調整を行うことがあります。

Q 3. 高額医療費の扱いはどうなるのですか？

A 3. 高額医療費制度の取扱いは従来どおり変わりません。

## 退院時の清算について

1. 退院清算は後日となります。退院後3日以内に指定された住所にお支払いのご案内、入院医療費請求書、明細書を郵送いたします。
2. お支払いの期限は請求書到着後2週間以内とし、各センター窓口または振込みにてお願いします。  
※各センターでの入院医療金のお支払いには、以下のマークのあるクレジットカードがご利用いただけます。



3. 前納金をお預かりしている場合は、前納金の清算が必要になりますので、入退院窓口までお越しください。その際は前納金預り証、印鑑、保険証を必ずご持参ください。
4. 入院医療金等のお支払いについてのご相談は、C棟1階入退院ラウンジにてお受けしております。

入退院ラウンジ（C棟1階）

受付時間：8：30～17：00

TEL：042-984-4115

## 利用者苦情相談室

当センターを利用される患者さんやご家族等の利用者からのご質問・ご意見・苦情等を担当職員がお伺いし対応致します。

病院を利用される皆様方の満足・サービス向上促進を目的に相談や支援を行いますのでご利用下さい。

○受付場所：総合コンシェルジュ（1階メインエントランス）

○受付時間：月曜～土曜 8：30～17：00（祝祭日・年末年始を除く）

※相談内容については、秘密を厳守致します。また、相談されたことにより、不利益を受けることはございません。

## 医療安全相談窓口

患者さんやご家族から、医療安全に関わるご相談、ご質問、ご意見等を担当職員がお伺いいたします。

○受付場所：総合コンシェルジュ（1階メインエントランス）

○受付時間：月曜～土曜 8：30～17：00（祝日・年末年始を除く）

○担当者：医療安全管理者（医療安全担当副院長）

※相談内容については秘密を厳守いたします。また、相談されたことにより、不利益を受けることはございません。

## 患者支援センター 医療福祉相談室

患者支援センター医療福祉相談室では、当院の心臓病センター、救命救急センター（脳卒中センター含む）におかかりの患者さん及びご家族の療養生活に関するご相談をお受けしております。

ソーシャルワーカー（社会福祉士）や看護師が相談をお受けいたします。

- ・医療費や生活費のことが心配
- ・社会保障制度や医療費の助成制度について知りたい
- ・療養生活に不安がある
- ・地域の福祉サービスに関する情報を知りたい
- ・医療機関・福祉施設の情報を教えてほしい

## がん相談支援センター

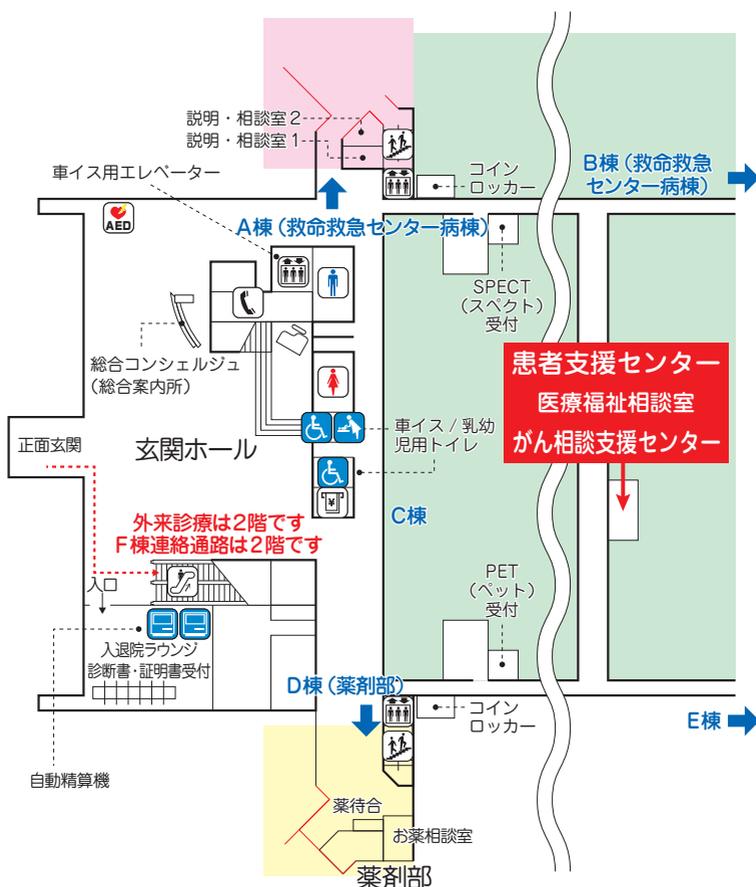
がん相談支援センターでは、地域に開かれたがん診療支援の窓口として下記の取り組みをしております。かかりつけでない方からのご相談もお受けしています。

ソーシャルワーカー（社会福祉士）や看護師が相談をお受けいたします。

- ・医療費・生活費のことが心配
- ・退院後の生活、在宅療養、転院について不安がある
- ・仕事や学校について
- ・緩和医療やセカンドオピニオンについて
- ・考えを整理したい、話を聴いてほしい

## 〈医療福祉相談室・がん相談支援センターのご利用方法〉

- ◇相談日時を御予約ください。
- ◇面接相談は、予約の方を優先させていただきます。予めご了承ください。  
がん相談支援センター：TEL 042-984-4329（直通）  
患者支援センター医療福祉相談室：TEL 042-984-4106（直通）  
受付時間：8:30～17:00（日、祝祭日、年末年始を除く）
- ◇相談をご希望の方は、総合コンシェルジュ、各受付、病棟・外来看護師へお声掛けください。
- ◇相談内容については秘密を厳守いたします。相談者の許可なしに第三者へ漏れることはありません。



## ラーニングセンター(患者図書室)

当院では、患者さん・ご家族等が病気や治療法の知識を自ら得る場を提供することにより、次のことを支援します。

1. 治療に取り組む意欲、回復への志向を持ち、また不安等を解消し、患者自身の健康な生活の再建を支援します。
2. 治療についての認識を深めることにより医療者と共に治療方法の選択のための意思決定を行うことを支援します。
3. 診療内容等を理解し、患者さん・ご家族等が医療者とのよりよい信頼関係を構築し、納得した治療を受けることが出来るよう支援します。
4. 患者さん・ご家族等が予後等を理解し、QOLの向上した療養生活がおくれるよう支援します。

ラーニングセンター (C棟3階)

時間：9：00～12：00、13：00～17：00

休館日：土曜・日曜・祝祭日及び不定期の休館あり

## 外来・病棟電話番号一覧

外来・病棟	電話番号市外局番 (042)	場所	
外来	心臓病センターコンシェルジュ (受付)	984-4220	A 棟 2 階
	脳卒中センターコンシェルジュ (受付)	984-4578	A 棟 2 階
	包括的がんセンター D 棟コンシェルジュ (受付)	984-4233	D 棟 2 階
	包括的がんセンター E 棟コンシェルジュ (受付)	984-4250	E 棟 2 階
	包括的がんセンター F 棟コンシェルジュ (受付)	984-4259	F 棟 2 階
病棟	A 棟 1 階病棟	984-4131	
	A 棟 1 階救命救急センター I C U 病棟	984-4130	
	A 棟 3 階病棟	984-4307	
	A 棟 3 階急性心血管センター	984-0602	
	A 棟 4 階病棟	984-4419	
	A 棟 4 階 C I C U 病棟	984-4418	
	A 棟 5 階病棟	984-4445	
	A 棟 6 階病棟	984-4682	
	B 棟 2 階小児心臓 I C U 病棟	984-4797	
	B 棟 2 階病棟	984-4297	
	B 棟 3 階病棟	984-4309	
	B 棟 3 階 S C U 病棟	984-4308	
	B 棟 4 階病棟	984-0083	
	B 棟 4 階 H C U 病棟	984-4421	
	B 棟 5 階病棟	984-4459	
	B 棟 6 階病棟	984-4573	
	D 棟 3 階病棟	984-4399	
	D 棟 4 階 H C U 病棟	984-4432	
	D 棟 4 階病棟	984-4435	
	D 棟 5 階病棟	984-4465	
	D 棟 6 階病棟	984-4482	
	E 棟 3 階病棟	984-4415	
	E 棟 4 階病棟	984-4438	
	E 棟 5 階病棟	984-4473	
	E 棟 6 階無菌室病棟	984-4484	
	F 棟 4 階病棟	984-0448	

# 病院内施設のご案内

## ・コンビニエンスストア

場 所 C棟2階ノースストリート  
営業時間 24時間営業  
定休日 年中無休

## ・カフェ（喫茶・軽食）

場 所 C棟2階エスカレーター隣り  
営業時間 月曜日～金曜日 8:00～21:00  
土曜日 8:00～20:00  
日・祝祭日 10:00～20:00  
定休日 年中無休

## ・売店

場 所 C棟2階サウスストリート  
営業時間 月曜日～土曜日 9:30～17:30  
定休日 日・祝祭日

## ・ヘアサロン

場 所 C棟2階サウスストリート  
営業時間 月曜日～土曜日 9:00～18:00  
日曜日（祝祭日は営業）  
定休日

## ・ATM（埼玉りそな銀行）

場 所 C棟1階エントランス裏  
営業時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00  
土曜日 9:00～17:00

## ・郵便・宅配・新聞

場 所 C棟2階ノースストリート（コンビニエンスストア内）  
営業時間 24時間営業  
定休日 年中無休

## ・ラーニングセンター（患者図書館）

場 所 C棟3階  
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00  
13:00～17:00  
休館日 土・日・祝祭日及び不定期の休館あり

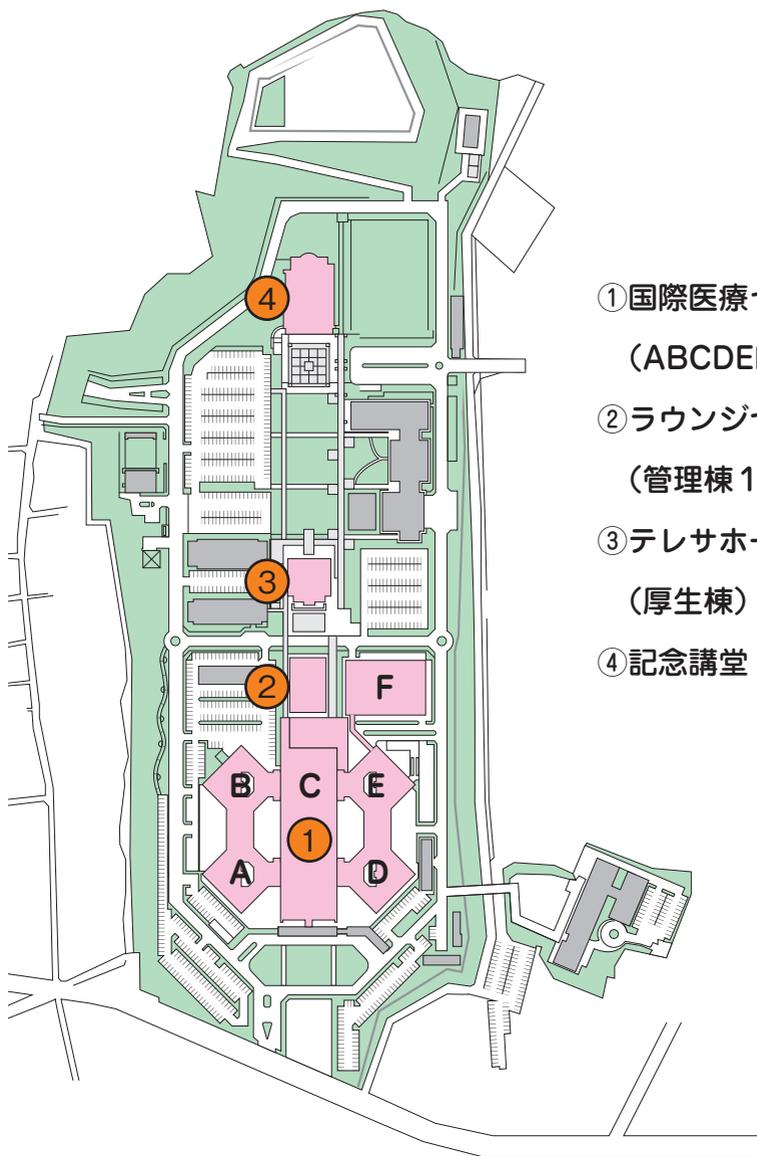
## ・テレサホール（患者・学生・職員用食堂）

場 所 厚生棟（院外）  
営業時間 11:00～19:30  
定休日 年中無休

## ・ラウンジヤマネ（患者・学生・職員用食堂）

場 所 管理棟（院外）1階  
営業時間 7:30～9:00、11:00～14:00  
定休日 土・日曜日・祝祭日

# 構内配置略図



- ① 国際医療センター  
(ABCDEF)
- ② ラウンジヤマネ  
(管理棟1階)
- ③ テレサホール  
(厚生棟)
- ④ 記念講堂

# セカンドオピニオンについて

## 【セカンドオピニオンとは】

セカンドオピニオンとは、診断や治療方針に関する主治医以外の医師による意見のことを言います。医療が高度化し治療の選択肢も多くなり、他の医師の意見も聞き納得して治療を受けたいという患者さんが増えてきています。

当センターでは患者さんの、安心して質の高い医療を受ける権利、あるいは治療についての自己決定権を尊重し、これらを支援することを目的に、当院での診療データを積極的に提供いたします。

## 【セカンドオピニオンを受けるまで】

1. 現在の主治医の診断と治療方針を確認  
※セカンドオピニオンで確認したいことは何なのかをまとめておくスムーズに進みます。
2. セカンドオピニオンの希望を主治医に伝える。  
※希望の医療機関や医師が決まっている場合は、お伝えください。
3. 主治医から診療情報提供書（紹介状）と必要に応じ診療データを受け取る。  
※多少お時間をいただく場合があります。
4. 希望先の医療機関にセカンドオピニオンを申し込む。
5. セカンドオピニオンを受ける。
6. 現在の主治医に報告し、今後の治療方針について相談する。

## 【その他】

診療情報提供料以外の費用はかかりません。

## カルテ開示を希望される方へ

当院では、診療情報の開示を希望される方に対しカルテ開示を行っております。

当院のカルテ開示は、患者さんと医療者が情報を共有することにより、医療の質を高めるとともに、真のよりよい信頼関係を築くことを目的としたものです。

詳細は、各センターコンシェルジュにお尋ねください。

開示請求者：患者本人

患者の同意を得た患者の家族

遺族（法定相続人の代表者）

対象カルテ：平成19年4月以降の外来、入院カルテ

開示方法：閲覧・カルテコピー

(税込)

内 容	開示手数料	コピー手数料	カルテコピー料
開示(30分まで)のみ	11,000円	—	—
開示(1時間まで)のみ	22,000円	—	—
開示(30分まで) +カルテコピー	11,000円	1,100円	白黒コピー 枚数×22円
			カラーコピー 枚数×33円
開示(1時間まで) +カルテコピー	22,000円	1,100円	白黒コピー 枚数×22円
			カラーコピー 枚数×33円
カルテコピーのみ	—	1,100円	白黒コピー 枚数×22円
			カラーコピー 枚数×33円

※カルテのコピーを希望される場合は、コピー手数料とコピー料がかかります。

### 連絡先

TEL 042-984-4108

受付時間 8:30~17:00

(日・祝祭日・年末年始を除く)

## 当院の「痛み」の対応について

当院では、患者さんが検査・治療・病気の影響による痛みで、苦痛を感じる事が少ないようにすることを心がけています。

痛みが強いと治療や検査を行なうことができないばかりか、食欲が落ちる・眠れない・動けない・気持ちが落ち込むなどの悪影響があります。痛みも病気と同様に早期発見・早期治療が大切です。

患者さんの痛みの程度を知るためには、患者さんからその程度をお聞きすることが必要です。我慢せずにその程度をお知らせください。

なお手術を受ける患者さんには手術前に改めて説明いたします。

次のように患者さんに痛みについてお尋ねします。ご協力をお願いいたします。

1. 痛みの程度は、疼痛スコアを用いて患者さんへお尋ねいたします。(疼痛スコアは使用時に説明させていただきます。)
2. 外来患者さんは受診時に、入院患者さんは入院時と必要に応じて痛みについてお尋ねいたします。
3. 痛みはその原因により使用する薬が異なります。その効果についてもお尋ねいたします。

# 緩和(かんわ)ケアチーム

より自分らしく生活するために患者さんとご家族を応援します。

## 緩和ケアとは

緩和ケアとは、がんなどの悪性腫瘍または、後天性免疫不全症候群の患者さんの苦痛をなるべく軽減し、患者さんとそのご家族が、より豊に生活を送ることができるように援助する治療やケアのことです。

どのような症状や問題でも、なるべく早い時期から良い方法を探すことが効果的です。

このような症状の方はご相談ください

- 痛み、息苦しさ、吐き気、お腹が張って苦しい、眠れないなど、身体に生じる様々な症状
- 不安、いらだち、気分が落ち込む、恐れ、といった心のつらさといった心のつらさ

## 緩和ケアチームとは

緩和ケアを提供するために、症状の緩和を担当する医師、心のつらさを和らげる精神科医師、看護を担当する看護師、ソーシャルワーカー、栄養士、薬剤師がチームに参加しています。

## 緩和ケアチームへの相談方法

入院中の患者さんとそのご家族が対象となります。病気の時期に関係なく、病棟の主治医あるいは看護師にご相談ください。

主治医から依頼を受けて、できるだけ早い時期から援助を開始いたします。

主治医、病棟看護師との関係は、今までどおり変わりはありません。緩和ケアチームと主治医、病棟看護師が連携し、援助方法を考え、実施いたします。

# 栄養サポートチーム(NST)

栄養サポートチーム (NST : Nutrition Support Team) は、入院治療中の患者さんを対象とした、栄養管理を専門に行う医療チームです。

栄養に関する専門的な研修を受けた多職種スタッフが集まったチームで、現在、医師・看護師・管理栄養士・言語聴覚士・薬剤師・臨床検査技師により構成されており、NST 専門療法士も在籍しています。

## 活動内容

〈入院患者さん・ご家族への活動〉

治療内容や病状に合わせて身体が必要としている栄養素を検討し、患者さんひとりひとりに合わせた食事や点滴・栄養剤を管理します。

入院期間中の栄養状態を改善したり、良好に保たれるよう活動しています。栄養の管理は、治療の効果をより上げることにもつながります。

〈NST 専門療法士 教育修練施設としての活動〉

医療スタッフに対して、栄養管理に関する専門的な研修を受けることが出来る教育施設として稼働しています。当院以外の医療スタッフも受講することが出来ます。

現在、1年に1回、外部受講生を受け入れています。

※ 詳細は当院ホームページをご参照ください。

## NST を利用したい場合

病棟の担当看護師または担当医へお声掛けください。

担当医または主治医からの依頼を受けて、NST のサポートが開始となります。

このようなときにご相談ください

- 食事が食べられない・食欲が減ってしまった
- 治療により体力が低下してしまった
- 治療の効果を上げるために栄養のサポートをして欲しい
- 栄養に関して不安があり話したい
- 点滴や栄養剤について知りたい など

※ 現在、外来患者さんへの対応は行っておりません。

# 呼吸ケアチーム

私たちは、当院で手術を受ける患者さんが、肺炎などをおこさずに早く退院できるよう尽力しています。また、もともと肺の悪い患者さんには呼吸を手助けし、息苦しさを緩和することで、生活の質を高めることを支援したいと考えています。さまざまな医療スタッフがチームとなり力を合わせることで、患者さんの健康を守るお手伝いをしたいと思っております。

## 呼吸ケアチームについて

呼吸ケアチームでは、病気や怪我の影響で呼吸が障害されて酸素や人工呼吸器を必要とした患者さんがより良い経過が得られるよう治療・援助を行っています。チームは医師（麻酔科・救急救命科・呼吸器内科など）、看護師（集中ケア認定看護師・救急認定看護師・呼吸療法認定士を含む）、臨床工学技士、理学療法士、管理栄養士といった専門職からなります。これらの多職種の医療スタッフがチームとなって巡回などを行います。

また各病棟に「呼吸リンクナース（看護師）」を配置し、呼吸ケアチームと連携して患者さんの呼吸管理にあたります。

さらに病院スタッフからの呼吸に関する問題を解決するお手伝いや呼吸ケアに関する講習会を開催して、呼吸ケアの質の向上に努めています。

## 巡回（ラウンド）について

ラウンドでは、人工呼吸器による治療を受けている患者さんの状態を把握し、適切なアドバイス・支援を行います。各分野の職種がそれぞれの得意とする領域の知識や技術を十分に活用し、患者さんが人工呼吸器による治療を安全に安心して受けられ、できるだけ早く人工呼吸器を外せるように病棟の看護師や主治医と相談をしています。

当院では、人工呼吸器を使用している全ての患者さんに対して、週1回のラウンドができるように、全病棟を2つに分けてラウンドを行っています。

入院病棟により毎週火曜日または毎週木曜日のラウンドとなります。

# 自己管理記録

～私の治療メモ～

氏名 \_\_\_\_\_

## 病気と自己管理

病気を治すためには、自分自身の病状の把握と医師の治療方針をよく理解して治療に取り組むことが大切です。特に自分自身で病気を治していくという積極的な気持ちと日常生活の管理が重要です。

医師や看護師など医療従事者は、病気に対して患者さんと協同して治療にあたり闘病生活の不安や恐れを精神的に支えていくスタッフです。

治療にあたって、治療の経過や検査の薬のことなど、いろいろな疑問や医療スタッフに聞いて確かめたいことやお気付きの点があれば、自由にご記入ください。

この記録を、入院中のメモ書きとしてご利用いただき、入院治療中の医療スタッフと意思疎通を良好にし、診療情報の交換を密にし、互いの信頼関係を深めるために役立つよう願っております。

## 担 当 医

科 名	氏 名
科	
科	
科	
科	
科	

## 担当看護師

病棟名	氏 名
病棟	

## 薬 剤 師

科 名	氏 名
科	
科	
科	
科	
科	

## 栄 養 管 理 士

病棟名	氏 名
病棟	

## ソーシャルワーカー

科名	氏名
科	
科	
科	
科	
科	

## その他欄

病棟名	氏名
病棟	













# お食事記録ノート

## ★入院中に召し上がったお食事について記入してみましょう。

お食事に関して詳しい相談を希望される方は、個人栄養相談も承っておりますので、担当医師にお申し出ください。

## ★お食事の内容について

### 【食札の見方】

お箸・スプーンは毎食トレイにのせてお返してください  
下記のエネルギー量、塩分量は1日の総量です  
主食は1回の分量です

〇〇棟〇F    〇〇〇    07/12/01

日高 太郎 様 ← 患者さんのお名前

①エネルギー 1600    ②塩分 10g

柑橘類禁止 ← 禁止食品がある場合は、  
担当医師より指示が出  
されます

③ご飯 160g ← 毎食の主食量

提供される食事の1日の量  
エネルギー タンパク質 脂質 などの  
コントロール食及び塩分量

<記入例>下記の例を参考にお食事の内容を書いてみましょう。

★患者さんのお食事内容(食札をご確認のうえ、記録しておきましょう)

①お食事内容	エネルギー 1600
②塩分 10g	③主食量 160g

★お食事記入欄～書き方例～

日付	主食	主菜	副菜	その他	その他	コメント	
12/1 朝食	食パン イチゴジャム	オムレツ	カボチャの サラダ	牛乳			
食べた量	○	◎	◎	×		料理の味付けや 感じたことなど をメモしておき ましょう。	
・ ・ ・							
12/2 夕食	ごはん	焼き魚 きぬさや	大根の煮物	味噌汁	みかん		
食べた量	半分	全部	少し	半分	全部		
・ ・ ・							

下記の記号を使ったり、  
自分でわかるように記入  
したりと自由に書いてみ  
ましょう。

★食べた量

◎全部食べた    ○半分食べた    △1/3量食べた    ×ほとんど残した

★患者さんのお食事内容（食札をご確認のうえ、記録しておきましょう）

①お食事内容 _____
②塩分 _____ g      ③主食量 _____ g

★お食事記入欄

（書き方を参考にして、入院中のお食事について記入してみましょう）

日付	主食	主菜	副菜	その他	その他	コメント
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						

★食べた量

◎全部食べた    ○半分食べた    △ 1/3 量食べた    ×ほとんど残した

## ★お食事記入欄

(書き方を参考にして、入院中のお食事について記入してみましょう)

日付	主食	主菜	副菜	その他	その他	コメント
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						

## ★食べた量

◎全部食べた ○半分食べた △ 1/3量食べた ×ほとんど残した

★患者さんのお食事内容（食札をご確認のうえ、記録しておきましょう）

①お食事内容 _____
②塩分 _____ g      ③主食量 _____ g

★お食事記入欄

（書き方を参考にして、入院中のお食事について記入してみましょう）

日付	主食	主菜	副菜	その他	その他	コメント
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						

★食べた量

◎全部食べた    ○半分食べた    △ 1/3 量食べた    ×ほとんど残した

## ★お食事記入欄

(書き方を参考にして、入院中のお食事について記入してみましょう)

日付	主食	主菜	副菜	その他	その他	コメント
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						
食べた量						

## ★食べた量

◎全部食べた ○半分食べた △1/3量食べた ×ほとんど残した









A large rectangular box with a solid black border. Inside the box, there are 20 horizontal dashed lines, evenly spaced, extending from the left to the right edge. This layout is typical for a handwriting practice sheet or a template for a letter.



A large rectangular box with a solid black border. Inside the box, there are 20 horizontal dashed lines, evenly spaced, extending from the left to the right edge. This layout is typical for a handwriting practice sheet or a template for a letter.

# ありがとうメッセージ

看護師・医師等の医療者への励ましのメッセージをお願いします。

皆さまの応援を励みに、これからも良い医療をめざします。

記入後は、「ご意見箱」に投函してください

		記載日	年	月	日
メッセージの届け先（診療科、外来、病棟等の名称を記入してください）					
外来（		センター）	診療科（		）
入院（		棟	階病棟	その他（	
差し支えなければご記入ください					
メッセージ記入者名		患者名		患者との関係	
様		様			

埼玉医科大学国際医療センター

A large rectangular box with a solid black border. Inside the box, there are 20 horizontal dashed lines, evenly spaced, extending from the left to the right edge. This layout is typical for a handwriting practice sheet or a template for a letter.

# ありがとうメッセージ

看護師・医師等の医療者への励ましのメッセージをお願いします。

皆さまの応援を励みに、これからも良い医療をめざします。

記入後は、「ご意見箱」に投函してください

		記載日	年	月	日
メッセージの届け先（診療科、外来、病棟等の名称を記入してください）					
外来（		センター）	診療科（		）
入院（		棟	階病棟	その他（	
差し支えなければご記入ください					
メッセージ記入者名		患者名		患者との関係	
様		様			

埼玉医科大学国際医療センター

A large rectangular box with a solid black border. Inside the box, there are 20 horizontal dashed lines, evenly spaced, extending from the left to the right edge. This layout is typical for a handwriting practice sheet or a template for writing lines.



MEMO

# 埼玉医科大学国際医療センター

Saitama Medical University International Medical Center

〒 350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

1397-1 Yamane Hidaka-shi SAITAMA JAPAN

TEL 042-984-4111

<https://www.international.saitama-med.ac.jp/>